

巣舞る通信



千人鮮色

TAKADA

株式会社 高田建築事務所

第24号2014年12月

せんになんせんしよく

2015年スローガン「千人鮮色」

神様のパレットから無限の鮮やかな色彩が私達一人ひとりにこぼれ落ちてくる。

常日頃は、大変お世話になっております。
2014年も大勢の皆様にご愛顧・ご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

ひとつの時代を一言集約できるだろうか？また、して良いものだろうか？
私たちの周りには沢山の様々な言葉で満ち満ちています。
その中のいくつかを選んで自分なりの虹を架けることはきっと楽しいことでしょう。唯我独尊の世界であればそれもよし。
しかし、複数人でコミュニティーをつくりながら生活しているのであるから話はそう簡単ではありません。
当事者だけではなく第三者が架けた虹の理解も大切です。
あまりにも多くの言葉が散りばめられているのでその時代の真ん中にいると却って景色はぼんやりとしています。
むしろ、少々距離をおいて時間を通り越して振り返る時に多くの言葉が収束してくることがあります。
収束した言葉を手元に置けばそれはそれ相応にパワーを持つに違いありません。勿論、一行で言い表す危険は常につきまといまいます。
時代を言葉で切ることで、次ぎへの時代へバトンを渡すエネルギーにすることが出来るからです。
今はおぼろに見えますが、その時には面と向かって鮮やかに見ることが出来るからです。

*様々な軸を時代の変遷で切り込むと、ふりかえって未来がおぼろげに見えてきそうです。
「所有欲」⇒「使用欲」⇒「存在欲」⇒「共存欲」
と足跡を辿ることができます。
「もの」⇒「こと・ところ」⇒「精神・思想」⇒「魂」の時代へ！
「単語」⇒「文章」⇒「物語」⇒「育夢」の時代へ！
「名詞」⇒「動詞」⇒「形容詞・感動詞」⇒「接続詞」が大切な時代へ！

*少品種大量生産の時代は「十人一色」
・多品種少量生産の時代では「十人十色」
・必要品種自家生産の時代では「一人十色」
・そしてコラボダクトの時代には千人千色。
そして個性を持つ一人一人の色彩は鮮やかでなくてはなりません。
「千人鮮色」の時代であります。「せんになんせんしよく」と読みます。

*「私たちの会社グループの生業は“個性ある巣舞づくり”・“居場所探しの同伴者”！」と定義したところから出発しています。
1976年に創業させていただいた高田建築事務所も年が明けるとプレ40歳の年齢を迎えます。
これも一重に高田建築事務所をご愛顧頂いた皆様のお陰です。あらためて感謝申し上げます。
辿ってきた足取りを確りと検証して次の世代に向かいたいと想いタカダは今、何をしてきたのか？何をしようとしているのだろうか？と問うことの大切さを！常に考えさせられてきました。
2年ほど前から社内スタッフの意識調査を年頭発表会という形で発表してもらっていました。
高田建築事務所のブランディングは？ミッションは？
質問はダイレクトです。
そして、今年年初から高田建築事務所ブランディングプロジェクトを立ち上げ、7月16日ブランディング発表会をアオーレ長岡で開催することが出来ました。
新しいロゴマークが刻印された社員手帳にぎっしりとコンデンスされた一言集約言葉を整理することが出来ました。

*一言集約は「千人鮮色」でした。
経営理念に発するものですが、個性ある巣舞づくり！に一層邁進する誓いでもあります。
千人集まれば千通りの鮮やかな個性があります。その個性をこそ空間化・形化していくものです。太陽のように！花火のように広がるロゴマークは無限への居場所探しの旅を象徴するものでもあります。

そんな思いで来る年も高田建築事務所は頑張っていきたいと想っております。よろしく申し上げます。
末筆になりましたが、皆様ご家族様の上にご健康とご平安をご祈念申し上げます。

(株)高田建築事務所
代表取締役社長
高田 清太郎

2013年度 日本建築学会北陸支部北陸建築文化賞

リプチの森「間知(まち)プロジェクト」が日本建築学会北陸支部主催の「2013年度北陸建築文化賞【業績部門】」を受賞いたしました。
北陸・信越地方の建築文化の発展に顕著な貢献が認められる業績または建築作品に対し授与される賞です。



2004年度 日本建築学会北陸支部北陸建築文化賞

2004年にも「ミトロの森メディカルパークプロジェクト」が日本建築学会北陸建築文化賞を受賞しています。



緑あふれる広場を核に、各診療所棟を渦巻き状に配置したプロジェクト

自然と人間の共生がコンセプト。
宇宙が創られた時のような渦のコアをモデル化。
その渦のまわりに惑星があるように各診療所棟を配置。
それぞれの棟は、パーゴラ風ゲートからアプローチ。
各診療所は自由な方向を向き隣棟との間は程よい距離をもっています。



TAKADAブランディングプロジェクト

Reブランド

「私たちは何者なのか」

2016年に高田建築事務所が40才を迎えるにあたり、自分たちの取り組んできたこと、そしてこれからも続けさせていただくために、この問いを見つめ直す機会をいただくことができました。

『ブランディング』の言葉には、高級バッグや高級車のようにいわゆる『ブランド物』という響きに聞こえがちですがそうではありません。ある会社は「あそこの社員はあいさつが元気いから気持ちいいよね！」と言われているとすれば、その会社のブランドは「元気な挨拶」です。短時間でいつもの味を楽しめるファーストフード店ならブランドのひとつとして「スピード」と言えるかもしれません。ブランドは素朴でいて力強く、期待されているその人・その会社「らしさ」です。そして弊社の「らしさ」を見つめ直すReブランドが今回のプロジェクトテーマでした。



数学の世界でベクトルは「大きさ」と「向き」を持ち合わせています。同じ方向を向いている2つのベクトルの合力は、向きを合わせて大きな力となります(図①)。一方ひとつのベクトルの持つ力が大きくても、向きが逆だと全体の力は逆を向いてしまいます(図②)。

これは組織でも同じことが言えるかもしれません。たとえ小さな力でも向きを合わせることで、集まると大きな力を生んでいきます。私たちがその「向き」を全員でより揃えていき、道標をつくることで一層お客様に喜んでいただける会社を目指したいと思います。

具体的には社員手帳と新しいロゴマークの作成。HP・CMの一新、現場シートや看板から名刺のデザイン変更等の取り組みをしました。

社員手帳



社員手帳表紙

「らしさ」は普段、朝礼や会議の中で触れることがありますが、それを体系的にまとめて社員手帳というカタチにしました。私たちの日常業務の中で、各々が道に迷ったときに戻ってこれる道標をつくり、お客様に喜んで感動していただけるご提案を社員一丸となって取り組んでいきます。

【社員手帳に詰めたエッセンス】

- ・経営理念
- ・経営目的
- ・ビジョン
- ・ミッション
- ・スローガン
- ・マネジメントポリシー
- ・行動指針
- ・住まいづくり9の宣誓

私たちのしていることは何か



社員手帳
経営目的のページ

【経営理念】

- ・豊かな人間性
- ・個性ある住まいづくり
- ・輝ける未来に貢献する環境創造企業でありたい

今まで変わることなく大事にしてきたこの経営理念を、もう少し噛み砕き経営目的として明文化いたしました。私たちがお客様、社会にどのような姿勢を目指すべきかをより具体的にしました。

【経営目的】

- ・人をつくる。
- ・社会をつくる。
- ・居場所をつくる。

新ロゴマーク

今まで生かされてきた弊社の歴史の延長に、お客様、業者様、スタッフの様々な想いが鮮やかに花開くイメージです。

一方で見る時々に模様が収束・拡散、あるいは踊っているようにも見え、イメージの余韻があるデザインです。

千人鮮色マーク
(追加した新マーク)



旧ロゴマーク



TAKADA
株式会社 高田建築事務所



ブランディングプロジェクト
キックオフ会

H26年 7月 16日
アオーレ長岡
市民交流ホールAにて

プロジェクトを通して

社員手帳をまとめることは、弊社がどのように社会に貢献できるかを考えることでもありました。話を突き詰めていくと、最後は社会に必要なとされなければ継続していくことはできないことになります。逆に、社会から必要とされれば継続していくことができるとも言えます。

話し合いの中で、社会から必要とされる目指すべき姿は経営理念そのものだという事に気がきました。議論の中で新しいテーマに辿り着くこともあると最初は思っていました。経営理念が弊社のDNAとして組み込まれていたのです。

想いが一回りして経営理念に帰ってきたとき、重みをまとった言葉として目の前に現れました。そして経営理念を目指し、お客様に感動と喜びをお届けし続ける会社を目指したいと思います。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

専務取締役 企画担当
高田 清之介

築縁会2014 長岡

2月1日(土) 2日(日)の2日間、「築縁会 長岡」が開催されました。

15回目となる今年は穏やかな天候の中、約80件の築縁様のお集まりを訪問しました。久しぶりにお目にかかるご家族様や、昨年後半にお引渡しをさせていただいた皆様との打合せや工事中の出来事など、思い出話が尽きない、本当に楽しく貴重な時間でした。築縁様からお聞きした入居後の新しい発見やご要望・ご提案などはしっかり対応させて頂くと共に、新しい築舞づくりに繋がる大切なヒントとして受け止めて、これからの築舞づくりに活かしてまいります。ご参加頂きました築縁様、木族の会の皆様、ありがとうございました。

- 社員の方々が皆あなたかい雰囲気をもっていらっしゃると思います。この時代、「温かさ」は貴重です。これからも「温かい社風」を大切にしてください。(I様)
- リフォームして頂いた部屋で、炊事洗濯・テレビ観賞まで、ほぼ全ての事ができるようになって使いやすくなりました。(F様)
- お客様に応じた個性ある築舞づくりを継続してほしい。きめ細かいアドバイス・誠意を持ちつつ気さくで、プロとしての意識もある絶妙な対応を大切に。(I様)



築縁会2014 新潟

7月20日海の日 新発田市藤塚浜にて「築縁会 新潟」が開催されました。

築縁様59家族230人、木族の会スタッフ49人、そしてタカダスタッフ15人の総勢294名と、今年も大勢の皆様にご参加をいただき、ありがとうございました。当日はスイカ割り、上棟式に行われる「餅まき」に加え、今年は「O×クイズ」を復活させたりと、大人から子供まで参加できるイベントをたくさん準備したので、ご家族皆様で夏のひと時を楽しくお過ごし頂けたのではと思います。さて、恒例となりましたメインイベント「地引網」は・・・「大漁」でした！築縁様にはたくさんのお魚をお持ち帰り頂くことができ、スタッフは一安心です。ご協力いただきました浜茶屋「江口屋」様をはじめ、木族の会の皆様、ご参加くださった築縁様に感謝申し上げます。





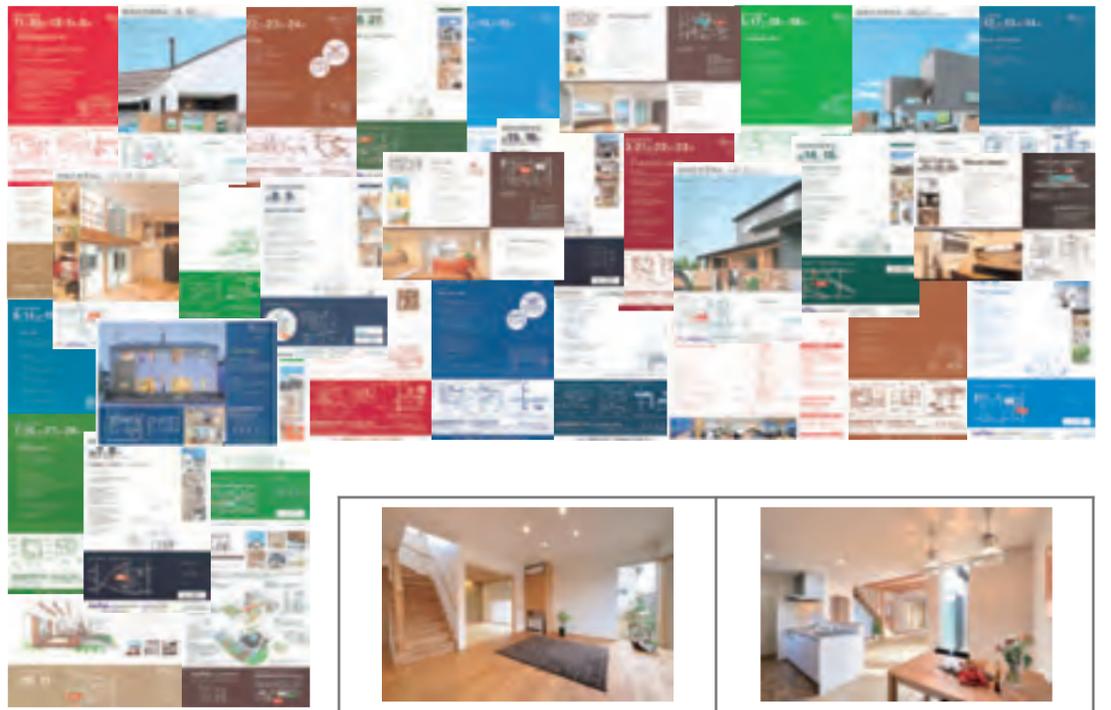
巣舞るメッセージ 住宅見学会 2014

2013年12月から2014年11月末までに行われた「巣舞るメッセージ住宅見学会は、33棟でした。どの回も築縁様の「巣舞い」への想いが満ちあふれた住まいでした。ご来場頂いたお客様にも、「施主様の住まいへの想い」や「アイデア」に感動して頂けたのではないのでしょうか。新しい「縁」が生まれる場所となるように、楽しく、感動できる見学会を目指し、スタッフ一同頑張っております。ご協力頂きました築縁様、本当にありがとうございました！

築縁様から

「お客様アンケート」にお寄せ頂いた感想から一部抜粋させていただきました。お褒めの言葉はもちろん、他にも「住んでから感じたご感想やご意見」など、この言葉をタカダスタッフへの応援メッセージと思い、より良い住まいのための提案に活かしていきたいと思っております。

- 工期中、私共の要望に対して、常に迅速に対応して頂き、結果として、パーフェクト、満足です。お礼申し上げます。(M様)
- 専門的に色々教えて頂き、途中変更も快く対応して頂き、大変感謝しております。おかげ様でどこのお宅とも違う“我が家”が完成し、満足しています。アフターサービスも細かく対応してもらい助かっています。スタッフの皆さんの感じがとても良いのもタカダさんの強みだと思っております。(N様)



649 丘の上の生野菜の家



648 我が家の巣舞づくり物語



647 Open the air



646 White Court



645 Harmony+Us



644 リトラット・リプロの家



643 空中KIDS



642 きのこの家



641 Slow Life



640 アクセルの家



639 Blue Garden



638 BENCH400



637 魔法使い達の寄宿舎



636 Ship dish persons



635 平屋の家



634 ぐるぐるキッチン



633 街中のコートハウス



632 パノラマ・ピットリビング



631 街中のコートハウス



630 アクアリウムのある家



629 はぴねすキッチン



628 Collaboration



627 稲保のWindowGallery



626 チムチムチェリーのおうち



625 想溢庵



624 Pouch Bank



623 Moving line



622 えくぼの家



621 Walnutの家



620 ミスターロンリーの家



619 賑やか家族のわんぱく広場



618 外吹き抜けのある家



617 からくり村のクリエイター

各種建築

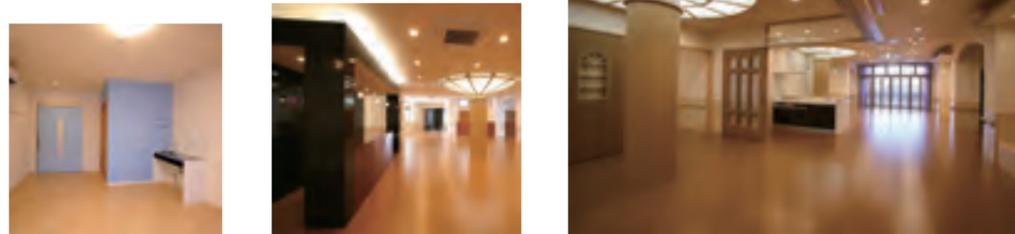
住宅の他にもお店・事務所・福祉施設などをお手伝いさせていただきます。

特別養護老人ホーム サポートセンター喜多町 (長岡市喜多町) 平成26年1月竣工

自宅からより近い所での生活の維持や住み替えによって、家族や地域の住民との「馴染みの関係」をそのままに暮らしていただきたい、という想いをコンセプトに誕生したセンターです。「サポートセンター喜多町」は、当社でお手伝いさせて頂いた美沢、撰田屋、川崎、に続き、4棟目のサポートセンターです。



外観は家並みが肩を寄り添っているイメージ



重症心身障害者施設 長岡療育園 病棟 (長岡市深沢町)

重症心身障害児(者)のための施設「長岡療育園」病棟が完成しました。室内で過ごす時間が多い皆様が、明るく開放的で、快適に過ごせるようにとの想いで設計しました。どの病棟からも長岡の街と豊かな自然を目にすることができます。



介護老人福祉施設 (福島県南会津郡只見町)

福島県南会津郡只見町で、地域密着型の介護老人福祉施設の設計をお手伝いさせていただきました。3つのユニットと地域交流スペースがあり、中庭を挟んで家庭的なサイズのユニットが配置されています。豊かな自然に囲まれ、街と人とが繋がることのできる交流の場となるように設計いたしました。



「第22回建築作品・新潟県賞」優秀賞・奨励賞を受賞

新潟県建築士事務所協会主催の平成25年度「第22回建築作品・新潟県賞」の、一般建築部門にて小千谷認定こども園「おぢや保育園」が優秀賞、住宅部門にて「街家町家(まちやまちや)」が奨励賞を受賞いたしました。ご協力いただきましたお施主様、また携わっていただきました協力業者の皆様大変ありがとうございました。この受賞を励みに、これからも高田建築事務所は住まいづくりや、各種建築、デザイン、技術の向上に頑張っていきます。



小千谷認定こども園「おぢや保育園」
【一般建築部門】

「街家町家(まちやまちや)」
【住宅部門】

イベント 8月 8月3日 長岡まつり花火大会 バスピアス超大型スターマイン「千人鮮色」打ち上げ!

花火名は、新しいタカダスローガン「Imagine 千人鮮色(せんにんせんしよく)」でした。真っ白いキャンパスにお客様が思い思いに色彩を描き、夢を広げて行ってほしいと願いを込めて打ち上げいたしました。



イベント 9月 9月12日 上組小学校6年生 タカモク工場で創作活動 育夢創造 (はぐくむそうそう) Project 09

今年もタカモクのプレカット工場の端材を使って作品づくりをしました。学校の中の美術館「こだま美術館」や校内に展示する作品を制作します。今年は「ドリーム・ハウス“あったらいいな!こんな家”」というテーマです。子供達は様々な形や大きさの端材で、楽しそうにオリジナルハウスを作っていました。上組小学校は地域や表現活動に関わる方々との作品づくり等のふれあいを通して、地域・人・個々の感性を育てる活動をされています。タカダはその活動のお手伝いをさせていただきます。



イベント 11月 11月1日・2日 ハイブ長岡大ホール 『トキっ子子育て応援フェア2014』出展

「トキっ子くらぶ トキっ子子育て応援フェア」に今年も参加しました。タカダは今年も木の香りあふれる造り込んだブースや、住まいのパネルや木のカレンダーのプレゼントなどで子育て世代ファミリーへPRです。チビっ子達には毎年大人気の「木製プレートお絵かき」で楽しんでもらいました。プレートを飾る「育夢の樹」は、あっという間に子供達の描く楽しく可愛らしい絵でいっぱいになりました。



メディア情報

2014年も住宅関連雑誌・テレビ・新聞など各メディアで紹介して頂きました。ご協力いただきました築縁様には、取材や撮影などに快く応じて頂き、感謝申し上げます。



- 日事連7月号 ●河北ハウジング「住む、暮らす。」
- ハウジングこまち2014夏・秋号 ●ハウジングこまち2014冬・春号
- 新潟住まいづくりガイド2014 ●住まいnet新潟Vol.18 ●月刊にいがた7月号
- 新潟日報朝刊 ●長岡新聞 ●建設ジャーナル ●小千谷新聞

「楽舞る通信」に掲載致しました情報は、当社のホームページに、より詳しくUPされております。随時更新しておりますので、タカダの「今」を知って頂けると幸いです。ぜひご覧ください!



<http://www.takada-arc.com>
Nagaoka/長岡市撰田屋5-6-22
Niigata/新潟市中央区女池南3-5-15